
コージエンラボ、インテル社の Open VINO™対応の ソリューションを発表

～技術協力としてイベント登壇、手書き文字の AI OCR などでデモ実施～

株式会社 Cogent Labs（本社：東京都渋谷区、代表取締役：飯沼 純、エリック・ホワイトウェイ、以下「コージエンラボ」）は、インテル社の「Open VINO™」上で動作する、手書き文字の AI OCR のソリューションを開発しました。コージエンラボの開発したソリューションは、Open VINO™を用いることにより、インテル製品に最適化されたディープラーニングソリューションとなります。現在すでに多くの国内有数のメーカーでの評価を得ており、IoT 市場で着目されているディープラーニングによるエッジコンピューティングを実現すべく、様々な機器メーカーの要請に対応中です。

AI の活用が期待される市場のひとつであるプリンタの市場規模は、全世界で 2017 年度 5 兆 7426 億円です※1。また、MFP(Multi Function Printer:プリンタ複合機)、OCR、スキャナなどで世界的なシェアを獲得している機器の殆どは日本製です。コージエンラボは、MFP、OCR、スキャナなどで、ディープラーニングを用いた手書き文字のデジタル化、画像・画質補正、障害事前検知などの処理をエッジコンピューティングで実現することのニーズが高いと考え、インテルの Open VINO™上で動作するディープラーニングソリューションを開発しました。コージエンラボのソリューションは、システム負荷の高いディープラーニング処理を、インテルのテクノロジーを利用して MFP、スキャナなどのデバイスで行うことで、ディープラーニング採用によるトラフィックおよびシステムの導入・運用コストの増大といった問題を解決できます。また、コージエンラボは、すでに持っている AI OCR Tegaki の技術、自然言語理解の Kaidoku の技術、時系列予測の FTF(Financial Time Series Forecast)の技術の優位性を、インテルの CPU 及びアクセラレータ上でそのまま生かすことができます。

コージエンラボはインテル主催で 2018 年 7 月 6 日(金)に開催された、「OFFICE AUTOMATION SUMMIT 2018」にて、ディープラーニングを用いた初のオフィス機器向けソリューションの紹介を行いました。講演および、文字認識ほか画像認識技術の説明や業務での利用イメージのデモンストレーションは好評を博し、さらなる開発・研究を進めています。業務の効率性を向上させる実用的な AI ソリューションを多数の業種に提供し、引き続きグローバルテクノロジーリーダーであるインテルと共に、ディープラーニング技術による価値創造することを目指します。

※1

2018 ビジネスプリンタ市場の実態と展望

(2018 年 7 月 27 日 株式会社矢野経済研究所)

https://www.yano.co.jp/market_reports/C60101000

■ Cogent Labs について

コージェントラボは、人工知能を活用して人々の働き方や生活の未来を形作ることに取り組み、実生活の課題を解決する、使いやすく直感的なソリューションを提供します。時系列データを活用した予測、情報抽出、自然言語と音声処理、強化学習など、多分野にまたがる専門性を活用することで、最新の研究内容を実ビジネスに応用します。

会社名： 株式会社 Cogent Labs

代 表： 飯沼 純 / エリック ホワイトウェイ

所在地： 東京都渋谷区代官山町 20-23 TENOHA LAB

U R L : <https://cogent.co.jp/>

事 業：最先端の人工知能の研究・開発と関連ソリューションサービスの提供